

平成26年度 建設部 施策展開方針 報告書

1. まちづくり政策（建設部関係分）

政策 05 都 市 基 盤	政策展開の方向性						
	市民が暮らしやすく、いつまでも住み続けたいと思えるまちづくりを進めます。 駅を中心としたにぎわいのある拠点を創出し、子どもから高齢者、障がいのある方までだれもが安心して過ごすことのできる計画的な市街地整備の推進や、安全で快適な道路環境の確保と公共交通の活性化などによる交通環境の充実によって、暮らしやすさを実感できるまちに向けた都市基盤の形成を進めます。						
	平成26年度の取組状況報告 （前年度の取組内容や成果指標の動向・分析を踏まえて、基本方針の進捗状況を記載）						
	05-01 市街地整備の推進						
	・江別の顔づくりでは、野幌駅北口駅前広場の完成など基盤整備を進めるとともに、野幌駅周辺における土地利用の増進を図りました。その結果、重点事業の進捗状況を示す指標は上昇しました。 ・市営住宅整備の推進では、市営住宅長寿命化計画に基づく新築団地の建替を実施し、B棟（48戸、平成27年度竣工予定）の建設に着手しました。 ・バリアフリーの街並みづくりでは、江別駅跨線人道橋が平成26年10月に完成しました。その結果、成果指標である「市街地整備に満足している市民割合」は上昇しました。						
	05-02 交通環境の充実						
	・冬期間の交通の確保では、除排雪管理体制の強化として、除雪センター運営委託業務を独立発注し、立案した除排雪機械の更新計画に則り、除排雪車両の更新（大型ロータリ除雪車2台・小型ロータリ除雪車2台）を行いました。また、除排雪事業改善の一環として、市民協働による雪対策強化に向けた3者懇談会（市・委託業者・自治会）を、4地区（豊幌・江別・野幌・大麻）で実施しました。						
	政策の成果指標	単位	（初期値）	H26年度	H27年度	H28年度	目標
	市街地整備に満足している市民割合（顔づくり、公園、バリアフリー化、上下水道等）	%	76.7	77.1			↗
	交通環境に満足している市民割合（道路環境、除排雪事業、公共交通）	%	57.9	60.8			↗
	建設部が所管する個別計画または重点事業の進捗状況						
	「江別の顔づくり事業（街路事業等）」事業進捗率（累計）	%	15	18			↗
	「江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）」事業進捗率（累計）	%	51	69			↗
	「新築団地建替事業」建替戸数	戸	48	48			↗

2. えべつ未来戦略（建設部関係分）

戦 略	■戦略プロジェクト 「関連事業」（担当課）
戦 略 1 ともにつくる協働のまちづくり	
戦 略 2 えべつの将来を創る産業活性化	
戦 略 3 次世代に向けた住みよいえべつづくり	■3B 駅を中心とした暮らしやすいまちづくり（えべつ版コンパクトなまちづくり） 「江別の顔づくり事業（野幌駅周辺土地区画整理事業）」（都心区画整理課）
戦 略 4 えべつの魅力発信シティプロモート	

3. 建設部の資源

		平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度
歳出予算額 (千円)	一般会計 (A)	4,735,036				
	特別会計 (B)	0				
	合計 (A+B)	4,735,036				
正職員人件費 (千円)	人工 (a)	74				
	平均単価 (b)	7,853				
	人件費 (a×b)	581,122				
総 額		5,316,158				